

2 学期始業式

2013. 9. 2 (月)

おはようございます。

夏休みが終わって、いよいよ2学期がはじまりました。3人の転入生を迎えて、全校生徒862人での2学期です。

暑い暑い夏でしたが、みんな元気にきょうをむかえられたことに先ず感謝したいと思います。皆さんにとってこの夏休みはどんな夏休みでしたか？

ここから見てみると真っ黒に日焼けして、みんな一回り大きくなったなあと感じます。

1学期の終業式では「夏休みはこれをやった！」といえるようにしよう、と話したと思います。今、自分の夏休みはこんなふうに充実していた、と胸をはって言うことができますか？この夏休みは徹底的にクラブをやった。勉強にあけくれた。家の手伝いは結構やった。旅行に行った。・・・色々な経験ができたと思います。

このあとクラブの表彰がありますが、夏休みの努力の結果です。立派に成果を上げることができたのですから、堂々と胸をはって表彰状をもらってください。でも一方で、悔いが残っている人もありますよね。あの時こうしておけばよかった、あの一瞬が・・・と思うこともあったと思います。あんなに勉強したのに、あんなに練習したのに、結果がついてこなかったと、落ち込んだこともあったでしょう。でも、自分の失敗に目をそらさず、なぜ失敗したのかを考え、それを次につなげれば大丈夫です。

8月22日、ニューヨークヤンキーズのイチロウ選手が日米通算4000本安打を達成したのは記憶に新しいところですが、その後のインタビューでこう言っています。

「誇れることがあるとすれば、4000のヒットを打つには、僕の数字で言うと8000回以上は悔しい思いをしてきているんですよね。それと常に、自分なりに向き合ってきたことの実実はあるので、誇れるとしたらそこじゃないかと思いますね。」

また、こんなことも言っています。「4000を打つには、3999本が必要なわけで、僕にとっては、4000本目のヒットも、同じように大切なものであると言えます。」

成功のかけには必ずその何倍もの悔しい思いがあるのです。その悔しい思いをばねに、くじけず先に進むことが大切ですね。そして、どんなことも積み重ねがあつてはじめて達成できるのであつて、その積み重ねのどの過程も同じように大切に、無駄なものなんてないのです。みなさんのこの夏休みの経験がきっと皆さんを一回りも二回りも大きくしていると思います。

先生方もこの夏休み、クラブ活動に精をだし、また色々な研修に参加して勉強もしました。旅行に行つて見分をひろげたり、リラックスする時間を持ったり、みなさんと2学期一緒に頑張れる準備をしてきました。私もこの夏休み大きな経験をしました。

それはアメリカのサンマテオに行つて、九中とサンマテオ市のボレルミドルスクールとの姉妹校の提携を交わしてきたことです。一年生の皆さんがつくつた九中の紹介カード、2年生の人たちがつくつた日本の遊びの紹介ビデオ、3年生のバスレクビデオなどを持っていきました。夏休み中で生徒には会えませんでした。先生方はとても喜んでくださつて、これから九中生や九中の先生方とたくさん交流しましょう。という話になりました。

今日は時間がないのでサンマテオでのことはまた、別の機会に色々みなさんにお話ししたいと思いますが、ひとつだけ。ボレルミドルスクールの合言葉、それは

「We are one」

「わたしたちはひとつ」

いい言葉だなあと思いました。



九中も2学期、どのクラスも、どのクラブも、どの学年も、生徒も先生も、「九中はひとつ」みんな一つになって、より良い学校生活をつくっていきましょう。

以上で今日の私の話をおわります。